



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日 東

上場会社名 三京化成株式会社 上場取引所
 コード番号 8138 URL http://www.sankyokasei-corp.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川和夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大槻一博 (TEL) 06-6271-1881
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,325	4.1	79	△51.9	164	△35.1	73	△76.7
2019年3月期第3四半期	17,610	4.0	165	△4.7	253	△0.9	316	41.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 171百万円(314.8%) 2019年3月期第3四半期 41百万円(△94.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.43	—
2019年3月期第3四半期	243.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,707	9,930	55.9
2019年3月期	17,743	9,776	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,904百万円 2019年3月期 9,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00
2020年3月期	—	42.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	3.2	80	△67.9	180	△48.8	60	△82.4	45.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	1,560,000株	2019年3月期	1,560,000株
2020年3月期3Q	225,083株	2019年3月期	263,737株
2020年3月期3Q	1,326,431株	2019年3月期3Q	1,296,433株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が続いているというものの、米中貿易摩擦の長期化などを背景に海外経済の減速による輸出や生産の低下が見られるのに加えて、足元では消費増税による反動減もあり、景気後退感が強まるなかで推移しました。

このような状況の下、当社グループは、お客さま本位の積極的な営業活動に注力するとともに、市場の変化を先取りした提案型営業活動の推進など営業施策の強化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は183億2千5百万円（前年同期比4.1%増）と増収となりましたが、販売費及び一般管理費の大幅な増加（前年同期比7.9%増）により、営業利益は7千9百万円（前年同期比51.9%減）、経常利益は1億6千4百万円（前年同期比35.1%減）と大幅減益となりました。販売費及び一般管理費が増加した主な要因は、基幹業務新システムの本番移行に伴う減価償却の開始、東京支社の移転に伴う一時費用の発生及び2018年8月にタイで設立した合弁子会社SY RUBBER (THAILAND)社の初期運営費用であります。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、7千3百万円（前年同期比76.7%減）で、前年同期には不動産及び投資有価証券の売却による特別利益が2億1千6百万円あったため更に大幅な減益となりました。

なお、東京支社は2019年7月29日に従来と同じ中央区新川1丁目の“SHINKAWA EAST”ビル内の新事務所への移転を完了しております。

事業セグメント別の概況は次のとおりであります。

[科学事業]

<土木・建材資材関連分野>

土木関連分野では、中部縦貫自動車道等のインフラ工事関連で地盤改良用のセメント添加薬剤が増加したほか、コンクリート関連顧客向け添加剤の新規納入などにより、地盤強化用パイル製造用薬剤等の減少を上回り増収となりました。

建材資材関連分野では、内装材の化粧材や壁紙等が低調で同用途のフィルムや薬剤は減少しましたが、建材ボード用の工程薬剤の伸長、設備販売、加えて昨年低調であった塗料関連薬剤と発泡断熱システム用薬剤が持ち直したこともあり増収となりました。

<情報・輸送機器関連分野>

情報関連分野では、自動車の電子化の拡大を背景に電子部品生産が引続き好調なことから自動車用部品、リチウムイオン電池用途の放熱材料は堅調に推移し、また電力関連への新規高機能樹脂の採用もありましたが、他方で中国の自動車関連の落ち込みにより部品納入が減少したほか、一部半導体封止用樹脂や精密洗浄剤も減少したため売上は横ばいにとどまりました。

輸送機器関連分野では、オートバイの国内生産の縮小により一部の成型樹脂や車体用防振樹脂等は減少しましたが、車載用電装部材の伸長に加えて環境規制強化により排気ガス浄化関連薬剤の新たな採用があったことから増収となりました。

<日用品関連分野>

日用品関連分野では、新たに採用された化粧品関連薬剤は伸長し、高品質が評価されている眼鏡レンズ機能性コート剤も堅調に推移しましたが、製靴関連の落ち込み及び機能性発泡樹脂関係の販売減少により微減収となりました。

フィルム関連分野では、生鮮野菜、チルド食品等包装用途の拡大により防曇性やガスバリア性、低温耐ピンホール性などを有する高機能性フィルムが堅調に推移するなか、食品用軟質包装フィルムの一部商権が回復し微増収となりました。

<化学工業関連分野>

繊維関連分野では、繊維の国内加工の縮小が続くなか衣料用の染色整理用染料や染色助剤の落ち込みにより減収となりました。

化学工業関連分野では、東南アジアからの輸入基礎化学品及び化粧品関連原料向け化学品は増加しましたが、中国の爆発事故による安全対策規制強化により輸入化学品に玉不足や価格高騰が生じたことから、一部輸入化学品の受注が出来ず同分野全体では微減収となりました。

これらの結果、科学事業セグメントの売上高は151億2千2百万円（前年同期比4.6%増）と増収となりましたが、タイの合弁子会社SY RUBBER (THAILAND)社を含む営業費用の増加を吸収しきれず、営業利益は2億3千9百万円（前年同期比14.6%減）にとどまり減益となりました。

[建装材事業]

戸建住宅及び集合住宅の市況低迷により既存の造作部材、樹脂製品及び建具等の販売が低調に推移し、他方、2018年から納入を開始したキッチンの伸長及び収納家具の新規採用によるプラスはありましたが、セグメント合計では微増収にとどまりました。

これらの結果、建装材事業セグメントの売上高は32億3百万円（前年同期比1.5%増）と増収となりましたが、商品構成の悪化と販売経費増により営業損失は9百万円（前年同期は営業利益4千2百万円）と前年同期比で減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

流動資産は前連結会計年度末に比べ、4千4百万円減少し、109億6千4百万円となりました。これは主に、電子記録債権が4億4百万円、受取手形及び売掛金が6千2百万円減少し、現金及び預金が3億5千万円、商品及び製品が9千3百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、8百万円増加し、67億4千2百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が9千3百万円増加し、有形固定資産が4千3百万円、無形固定資産が4千1百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ、3千6百万円減少し、177億7百万円となりました。

②負債の部

流動負債は前連結会計年度末に比べ、1億7千2百万円減少し、65億2千8百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億4千6百万円、電子記録債務が9千9百万円、その他に含まれる未払金が7千5百万円減少し、買掛金が1億7千5百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1千8百万円減少し、12億4千8百万円となりました。これは主に、その他に含まれるリース債務が3千万円、長期借入金が2千2百万円減少し、その他に含まれる繰延税金負債が3千8百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ、1億9千万円減少し、77億7千6百万円となりました。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べ、1億5千4百万円増加し、99億3千万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億1百万円増加し、自己株式が7千8百万円減少し（純資産が7千8百万円増加し）、利益剰余金が3千8百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2019年11月5日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,900	1,833,142
受取手形及び売掛金	6,635,899	6,573,000
電子記録債権	1,782,105	1,378,029
有価証券	-	83,903
商品及び製品	793,589	887,067
仕掛品	84,922	32,762
原材料及び貯蔵品	75,973	49,981
その他	153,664	126,800
流動資産合計	11,009,055	10,964,687
固定資産		
有形固定資産	2,112,577	2,069,375
無形固定資産	229,502	187,697
投資その他の資産		
投資有価証券	4,225,957	4,324,661
退職給付に係る資産	36,704	27,394
その他	129,526	133,283
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,392,188	4,485,339
固定資産合計	6,734,269	6,742,411
資産合計	17,743,324	17,707,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,935,465	4,110,770
電子記録債務	2,110,161	2,010,198
短期借入金	5,000	-
1年内返済予定の長期借入金	34,988	30,365
未払法人税等	156,964	10,833
賞与引当金	63,456	16,969
役員賞与引当金	20,000	16,350
その他	374,646	332,888
流動負債合計	6,700,682	6,528,376
固定負債		
長期借入金	116,173	94,055
役員退職慰労引当金	286,579	296,915
退職給付に係る負債	2,494	2,889
その他	861,390	854,377
固定負債合計	1,266,636	1,248,236
負債合計	7,967,318	7,776,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,600	1,716,600
資本剰余金	1,439,931	1,456,843
利益剰余金	5,500,686	5,462,379
自己株式	△535,795	△457,501
株主資本合計	8,121,421	8,178,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,584,568	1,686,153
土地再評価差額金	31,302	31,302
為替換算調整勘定	9,218	8,587
その他の包括利益累計額合計	1,625,090	1,726,043
非支配株主持分	29,494	26,122
純資産合計	9,776,005	9,930,487
負債純資産合計	17,743,324	17,707,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	17,610,446	18,325,562
売上原価	15,939,634	16,621,845
売上総利益	1,670,811	1,703,716
販売費及び一般管理費	1,505,690	1,624,320
営業利益	165,121	79,396
営業外収益		
受取利息	5,455	6,373
受取配当金	63,557	65,868
持分法による投資利益	7,564	4,865
仕入割引	2,994	3,245
その他	15,916	14,411
営業外収益合計	95,488	94,765
営業外費用		
支払利息	903	585
為替差損	185	1,130
売上割引	3,805	3,482
その他	2,137	4,448
営業外費用合計	7,031	9,646
経常利益	253,578	164,514
特別利益		
固定資産売却益	166,985	57
投資有価証券売却益	49,695	-
特別利益合計	216,681	57
特別損失		
固定資産除却損	491	3,306
投資有価証券評価損	-	413
特別損失合計	491	3,719
税金等調整前四半期純利益	469,768	160,853
法人税、住民税及び事業税	153,702	91,686
法人税等合計	153,702	91,686
四半期純利益	316,065	69,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△4,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,065	73,526

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	316,065	69,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271,660	101,584
為替換算調整勘定	△6,365	1,070
持分法適用会社に対する持分相当額	3,208	△714
その他の包括利益合計	△274,817	101,940
四半期包括利益	41,248	171,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,248	174,479
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△3,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,453,542	3,156,903	17,610,446	—	17,610,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,453,542	3,156,903	17,610,446	—	17,610,446
セグメント利益	279,986	42,849	322,835	△157,714	165,121

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	科学事業	建装材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,122,349	3,203,212	18,325,562	—	18,325,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,122,349	3,203,212	18,325,562	—	18,325,562
セグメント利益又は損失(△)	239,124	△9,263	229,861	△150,465	79,396

(注) 1. 「調整額」の区分は、報告セグメントに帰属しない本社固有の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。